

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※製品破損による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 製品をくぼ地などの水がたまる場所、浴場などの湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所には設置しないでください。器具の破損、ショートなどによる思わぬ事故や感電によるケガの原因となります。
- ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
<推奨トルク>φ4ネジ、M4ネジ：1.5N・m ± 0.5N・m (15±5kgf・cm)



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品がそろっているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書はお施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

- ネジは当社指定品の指定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ネジなどにゆるみがないか確認してください。強度低下またはケガの原因になります。



ポイント

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

<電気配線工事について>

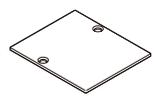
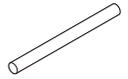


注意

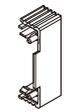
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の器具は、D種接地工事を行なってください。
- AC100V用の配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を別途準備してください。
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。

■ 梱包明細表

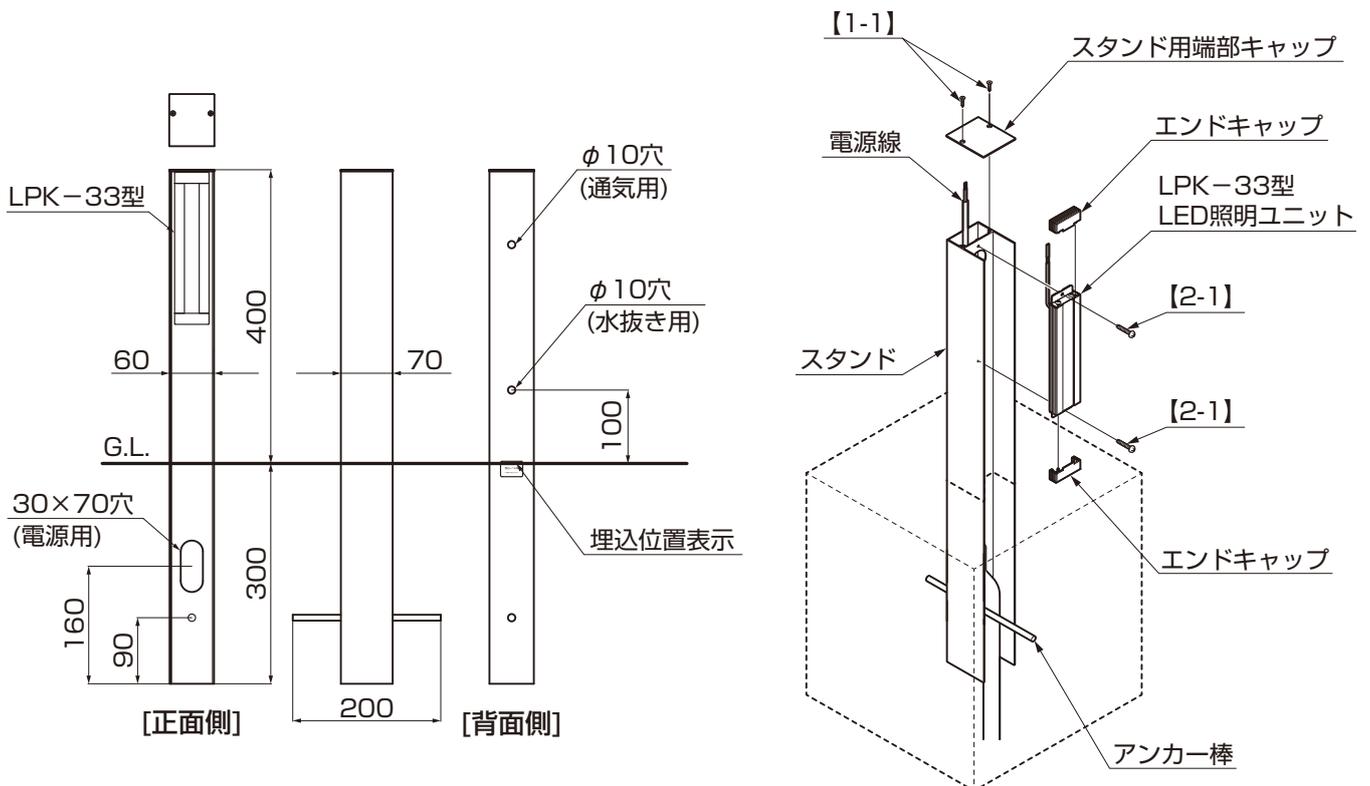
【1】 LPK-33型用スタンド

名 称	略 図	員 数
スタンド		1
スタンド用端部キャップ		1
【1-1】 $\phi 4 \times 8$ サラタッピンネジ 1種 D=6		2
アンカー棒 $\phi 8 \times 200$		1
取付説明書 <E457>	—	1

【2】 LPK-33型

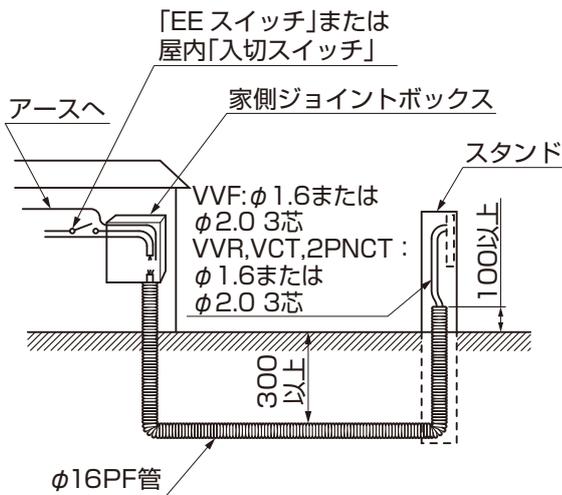
名 称	略 図	員 数
LPK-33型LED照明ユニット		1
エンドキャップ		2
【2-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		2
$\phi 4.1 \times 56$ 木ネジ		2
取付説明書 <Z533>	—	1
取扱説明書 <UZ276>	—	1

1. 基本寸法と部品名称



2. 基礎工事と配線工事

2-1 配線参考図



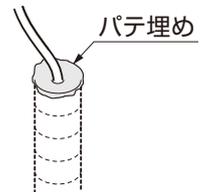
①AC100V電源の配線を配管に通して敷設してください。

⚠ 注意

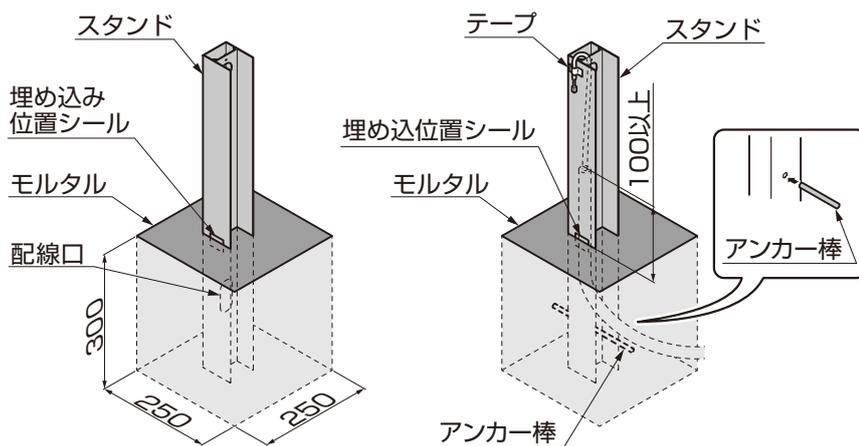
●AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

🔑 ポイント

- 電源ケーブルはポールの長さよりも長くしてください。
- 埋設管はG.L.より100mm以上を引き出して先端をパテで埋めてください。



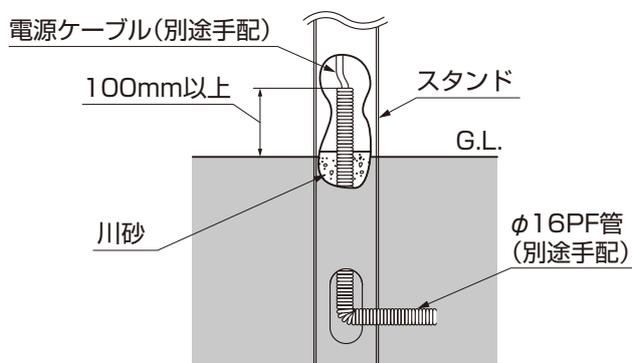
2-2 基礎寸法とスタンドの埋設



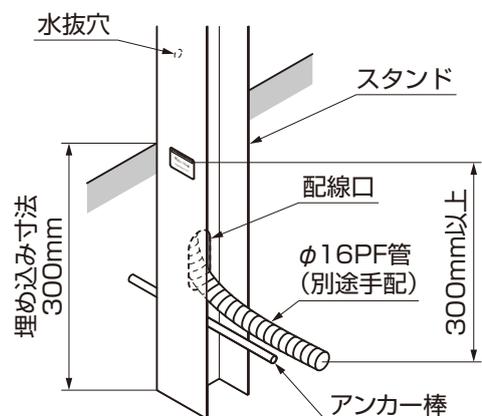
【図2-2-1 基礎寸法図】

【図2-2-2 電源線固定図】

- ①基礎穴を掘ります。(図2-2-1 参照)
- ②スタンドに埋設管を通して、電源線をスタンドから引き出してください。引き出した電源線はスタンドにテープで固定し、アンカー棒を差込み、垂直に立ててください。(図2-2-2 参照)
- ③スタンド内に川砂をG.L.ラインより上になるように入れ打設してください。(図2-2-3参照)
- ④埋め込み位置シールのG.L.ラインまでモルタル等で埋めてください。



【図2-2-3 配線の引き込み】

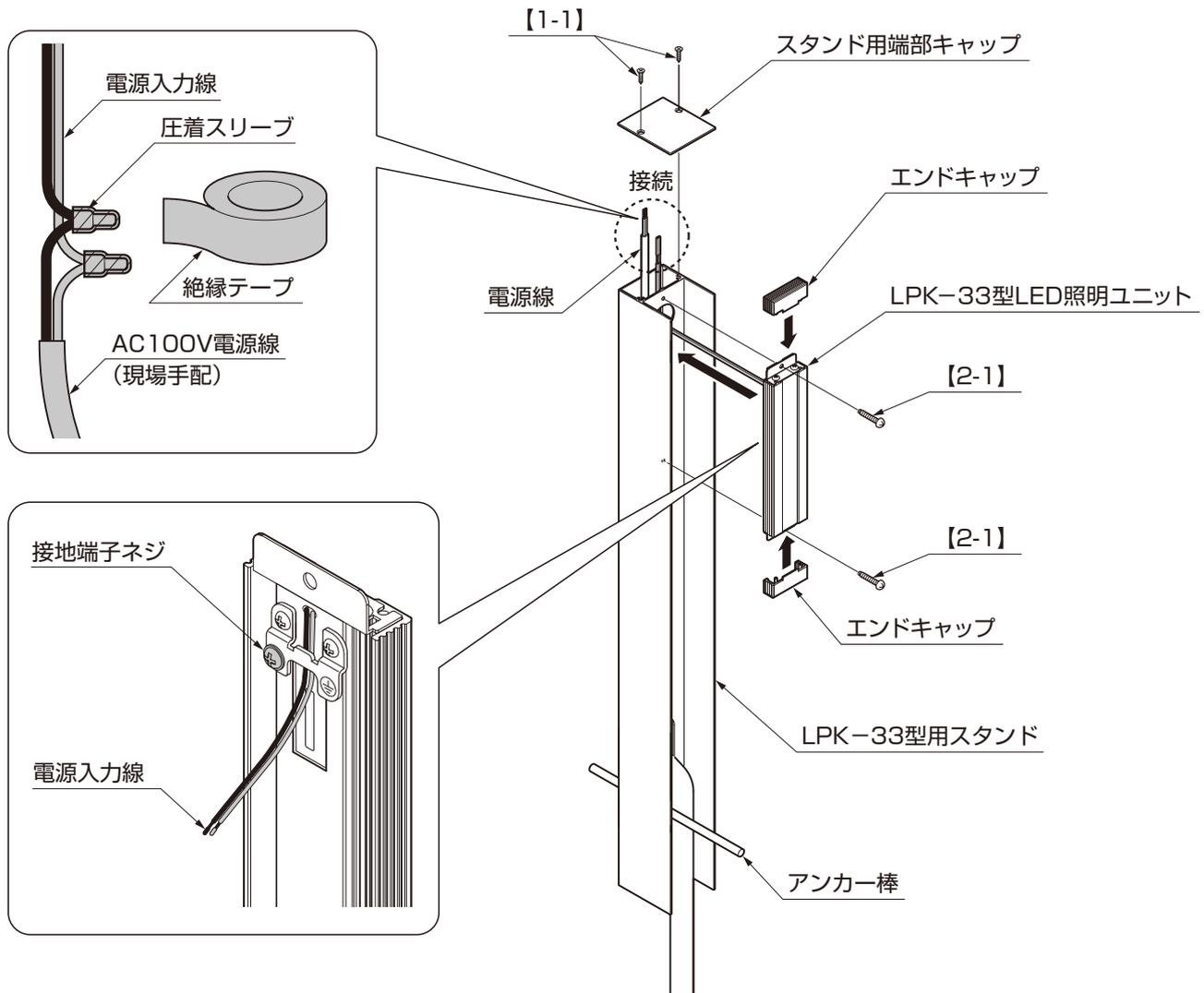


【図2-2-4 コンクリートの打設】

🔑 ポイント

- PF管の先端がG.L.ラインより100mm以上、上になるようにください。
- 照明用スタンドは方向を確認して、モルタルが固まるまでカイモノをして養生をしてください。
- モルタルで水抜き穴を塞がないでください。柱内に雨水が溜まり製品故障につながる恐れがあります。(図2-2-4参照)
- スタンド内に必ず川砂を入れてください。柱内が結露し、照明器具の不具合につながります。(図2-2-3参照)

3. LPK-33型の取付け



- ① LPK-33型をスタンドへ【2-1】で取付けてください。
- ② 電源入力線と電源線を接続してください

警告

- 配線接続部はスリーブなどで結線後、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁、防水処理を行ってください。(内線規程1335-7~9に準ずる)不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因になります。
- 接地端子ネジからD種接地工事を行なってください。接地不完全な場合、感電のおそれがあります。

- ③ エンドキャップをLED照明ユニットへ取付けてください。
- ④ スタンド用端部キャップを【1-1】で取付けてください。

取説コード

E457

JZZ634621
201804A_1047